

さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）

中間見直しに係る北区検討懇話会

会議録

日時	令和6年7月17日（水） 10時00分～12時00分
場所	北区役所2階 B会議室
出席者 （敬称略）	【委員】計13名 井山 智子／薄田 智子／蝦名 るみ子／小島 徹／ 柿沼 建／兼杉 文子／清水 ヨシ子／鈴木 健司／長島 孝／ 牧野 奈津子／矢島 達也／山崎 秀雄（座長）／ 吉野 啓司（職務代理者） 【事務局】計12名 北区役所 林区長／江幡副区長／浅井区民生活部長／横田健康福祉部長／ 市場総務課長／横溝課長補佐／宇田川主査／近藤主事 都市戦略本部 都市経営戦略部 大砂副理事／丸山主査 市民局 区政推進部 小島参事／加治主査 【傍聴者】0名
欠席者	〔委員〕計1名 浜野 博美
議題	1 開会 2 挨拶 3 出席者紹介 4 座長及び職務代理の選出 5 北区に係るさいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しについて 6 閉会
公開又は非公開の別	公開
配布資料	・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 席次 ・ 北区の将来像の推進に係る懇話会設置要綱 ・ 北区の将来像の推進に係る懇話会傍聴要領 ・ 資料1 検討資料一式（両面刷り11ページ） ・ 資料2 区の特性と将来像
問合せ先	北区役所 区民生活部 総務課 電話 048-669-6013

1 開会

○司会 定刻になりましたので、「さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る北区検討懇話会」を始めさせていただきます。

私は、北区役所総務課長の市場と申します。

座長が決まるまでの間、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2 挨拶

○司会 それでは、懇話会の開催に当たりまして、北区長の林より、御挨拶を申し上げます。

○林区長 皆様改めましておはようございます。この度は、さいたま市の総合振興計画基本計画の見直しに際しましてこの懇話会のメンバーになっていただきたいということで、急なお願いだったにもかかわらずお引き受けいただきありがとうございます。皆様方におかれましてはですね、日頃からそれぞれの立場でこの北区の発展のためにご尽力をいただいておりますことを改めて重ねて御礼を申し上げたいと思っております。

よく清水市長が申しあげています、15年前に比べて北区が「住みやすい」と思っていただけの方の割合が今90%近い、15年前は70～80%ぐらいだったということで、この間の地道な皆さんの活動で、このような結果になっています。重ねて御礼を申し上げたいと思います。

さて本日のこの総合振興計画基本計画の見直しでございますけれども、本日皆様それぞれの立場で今考えていらっしゃる、現状、課題、あるいは、将来的なあるべき姿などを、本当に忌たんのないご意見として頂戴をいたしまして、この計画の見直しはもとより、今後の北区の政策の推進に当たりましての検討の参考にさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

最後になりますけれども、今年はパリオリンピックがまもなく始まるということで、嬉しい話題もございますけれども、世界はまだまだ紛争など混乱もあります。また、AIの登場などで5年先10年先も予測が難しい世の中にはなっておりますけれども、私どもは基礎自治体の一員としてしっかり足元を見ながらですね、基本的な行政を進めてまいりたいと思っておりますので今後とも皆様のご支援、ご協力賜りますよう、心からお願いを申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。

3 出席者紹介

○司会 次に、本日お集まりいただいた皆様から、所属団体、お名前などを自己紹介いただければと存じます。

それでは、井山委員から時計回りで席順に自己紹介をお願いいたします。

○井山委員 おはようございます。さいたま市 PTA 協議会北区連合会で会長をしております井山と申します。見沼区よりの泰平小学校の会長をしております。私自身泰平小、泰平中、宮原幼稚園で、長くここに住んでおります。プライベートでは大砂土地区の主任児童委員をしております。よろしくお願いいたします。

○薄田委員 花いっぱい運動の土呂駅西口を手伝っております。いろいろボランティアやっているのですが、なぜか続けられるという喜びがありまして、いろいろ頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○蝦名委員 青少年育成さいたま市民会議北区連絡会の代表をしております蛸名と申します。ずっと北区で私自身も育ちまして、長い間子どもたちのボランティア活動をしておりますので、北区の将来ということであれば本当に子どもたちのすくすく育つ、健やかな育て方をする地域にしていきたいというのが私の希望でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○小島委員 土呂町自治会の会長をしております。小島と申します。大砂土地区自治会連合会の副会長です。よろしくお願いいたします。

○柿沼委員 植竹地区自治会連合会の柿沼と申します。今日はよろしくお願いいたします。

○兼杉委員 さいたま商工会議所商工振興委員の兼杉です。よろしくお願いいたします。地元で育ちました。植竹幼稚園、植竹小、植竹中で育ちました。よろしくお願いいたします。

○清水委員 北区民生委員児童委員協議会の清水と申します。どうぞよろしくお願いいたします。出身は大宮の街中でして、宮原に住んで 50 数年、今では宮原は何といいところだと感じた次第でございます。お勉強させていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○鈴木委員 大宮警察署少年非行防止ボランティア連絡会会長の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

○長島委員 スポーツ推進委員連絡協議会北区支部の支部長をしております長島といいます。

す。また大砂土地区民生委員児童委員もしております。よろしくお願いいたします。

○**牧野委員** おはようございます。牧野と申します。北区スポーツ振興会の会長をやっております。私は北区に住んでまだ42年ぐらしか経ってなくて、ずっと住まれている方ばかりの中で、ちょっと恐縮しております。北区の中で楽しくスポーツができるよう活動しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

○**矢島委員** 日進地区自治会連合会副会長、矢島と申します。地元の櫛引町二丁目自治会長でございます。よろしくお願いいたします。

○**山崎委員** 日進地区社会福祉協議会の会長の山崎と申します。よろしくお願いいたします。

○**吉野委員** 宮原地区自治会連合会副会長の吉野でございます。宮原町2丁目の自治会長を務めさせていただいております。保護司の会議が多目的室で現在やられていますが、こちらに出席させていただきました。よろしくお願いいたします。

○**司会** ありがとうございます。

なお、大宮盆栽協同組合浜野委員からは本日ご欠席の連絡をいただいております。本懇話会に係る委嘱状につきましては、机上に置かせていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

続きまして、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。

○**林区長** 改めまして、北区役所区長の林でございます。

○**江幡副区長** 副区長の江幡でございます。よろしくお願いいたします。

○**浅井部長** 区民生活部長の浅井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**横田部長** 北区役所健康福祉部長の横田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**大砂副理事** 都市経営戦略部の大砂と申します。よろしくお願いいたします。

○**丸山主査** 同じく都市経営戦略部の丸山と申します。よろしくお願いいたします。

○**小島参事** 区政推進部の小島と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○**加治主査** 同じく区政推進部の加治と申します。よろしくお願いいたします。

○横溝課長補佐 北区役所総務課の横溝と申します。よろしくお願いします。

○宇田川主査 北区役所総務課の宇田川と申します。よろしくお願いいたします。

○近藤主事 同じく北区役所総務課の近藤と申します。よろしくお願いいたします。

○司会 事務局職員は以上でございます。

なお、本日の会議では、議事録作成のため、業務委託の受託事業者2名が入室しておりますので、ご承知おきください。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○司会 次に、本日の配付資料の確認をさせていただきます。

次第、委員名簿、席次、北区の将来像の推進に係る懇話会設置要綱、北区の将来像の推進に係る懇話会傍聴要領、資料1 検討資料一式、資料2 区の特性と将来像でございます。以上、お手元にお揃いでしょうか。

○司会 次に、会議の公開及び傍聴の許可についてでございます。

本日の懇話会は、さいたま市情報公開条例第23条により、原則公開とさせていただきます。また、傍聴希望者があった場合は、資料として配付しております傍聴要領に従い、入室の可否をお諮りの上、許可をすることとさせていただきますので、御承知おきくださるようお願いいたします。

現在のところ、傍聴希望者、報道関係者の希望はございません。

また、本日の懇話会につきましては、会議録作成のための録音及び記録のための写真撮影を行わせていただきます。

なお、会議録につきましては、各委員にご確認をいただいたのち、各区役所情報公開コーナーと市の公式ホームページで、公開する予定となっておりますので、ご承知おきいただきたいと思っております。

4 座長及び職務代理の選出

○司会 それでは、次第の「4 座長・職務代理者の選出」に移りたいと存じます。

懇話会の設置要綱で、座長は、委員の互選により定めることとなっております。

自薦、他薦を問いません。御発言をお願いしたいと存じます。

○矢島委員 行政経験豊富な日進地区社会福祉協議会の山崎委員を推薦いたします。

○司会 ほかにないようでしたら、山崎委員に座長をお願いしたいと存じますが、皆様よろしいでしょうか。

○司会 山崎委員、いかがでしょうか。

○山崎委員 わかりました。お引き受けいたします。

○司会 ありがとうございます。

それでは、山崎委員に座長をお願いしたいと存じます。

次に、職務代理者の選出でございます。職務代理者につきましては、当懇話会の設置要綱第3条第4項で、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたとき、その職務を代理することとなっており、座長があらかじめ指定することとなっております。

山崎座長、どなたか、ご指名いただけますか。

○山崎座長 吉野委員を指名します。

○司会 ただいま、山崎座長から、「吉野委員」をお願いしたい旨のご発言がございましたが、吉野委員、お引き受けいただけますでしょうか。

○吉野委員 よろしく願いいたします。

○司会 ありがとうございます。吉野委員よろしく願いします。

それでは、山崎座長、吉野職務代理者は、お席の御移動をお願いいたします。

○司会 それでは、当懇話会の設置要綱第4条第1項により、本懇話会の会議の議長は座長とすることとなっておりますので、ここからの進行は、山崎座長へお願いしたいと存じます。山崎座長、よろしく願いいたします。

○山崎座長 改めまして、日進地区社会福祉協議会の山崎でございます。

委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力賜いますとともに、本懇話会が有意義なものとなるよう、それぞれのお立場から活発なご発言をお願い申し上げます。それでは、順次進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

私は2回総合振興計画に携わりました。ただ地元に戻ったら誰も読んでなかった。今度は地域の立場からご協力したいと思い、座長をお受けいたしました。よろしくお願いします。皆さんもこういうことを経験されることはあまりなく、ご心配だと思いますが、皆さんのご意見をいただいて、少しでも良い計画にしていく。もし道が少しずつであれば戻す、そういうことを皆さんのご意見の中で、行政の方で修正していただけることとなりますのであまり深く考えずに、皆さんの今感じていることをお話いただければありがたいと思いますのでご協力の方よろしく願いいたします。

初めに、会議の公開と傍聴の許可について、お諮りをいたします。先ほど、事務局から説

明がありましたとおり、本日は、傍聴希望者、報道関係者はおりませんが、会議を公開することとし、傍聴を許可してもよろしいでしょうか。

また、途中で、希望があった場合は、許可することとしてよろしいでしょうか。

○山崎座長 それでは、会議を公開することとし、傍聴を許可します。

○山崎座長 それでは、次第の「5 北区に係るさいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しについて」に移りたいと存じます。

進め方などについて、事務局に考えがあれば、説明をお願いしたいと思います。

5 北区に係るさいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しについて
--

○事務局 それでは、事務局より説明させていただきます。

進め方といたしましては、まず、資料1に基づき、さいたま市総合振興計画や今回の見直し等基本的な事項についての説明ののち、北区の人口や世帯、まちづくりの取組状況、市民からの評価、意見などにつきましても説明をさせていただきます。

その上で、お手元の「資料2 区の特性と将来像」につきまして、前半の「特性」の部分と後半の「まちづくりのポイント」に分けまして、それぞれご意見を頂戴したいと考えております。

進め方についての説明は、以上です。

○山崎座長 ただいまの事務局からの説明のとおり進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは、資料に基づき、説明をお願いします。

○事務局 資料説明

○山崎座長 ありがとうございました。

それでは、意見聴取に入る前に、ただいまの説明について、何かご質問、確認したい事項はございますか。

○山崎座長 それでは、改めて、資料2を御覧いただけますでしょうか。

最初に、資料2前半部分の特性（都市基盤・環境～コミュニティ）についてご意見をいただきたいと思います。

それに縛られず、ご発言は結構だと思うのですが、せっかくですので、まず前半の方ですね、特性の方につきましては、いろいろ関係されている各自治会連合会の副会長さん4人に発言をいただきたいと思います。今進めている各自治会の動きでも結構ですので、防犯等についての動きとかそういうものでも結構ですので何か課題とか、お気づきの点、これか

ら進める上でのご意見等があれば、お伺いしたいと思います。産業の面につきましては商工振興委員の兼杉さんのご意見があればお願いしたい。それからコミュニティにつきましては、青少年育成会の蝦名さんにご意見いただければと思います。

前半時間の許す限り皆さんの活動の内容とかそういうのをご説明いただければありがたいと思うのですが、なかなか急に難しい話するのも大変だと思うので私から地域振興のところでですね、地元自治会として日進2丁目なのですけども、日進2丁目に伝統芸能として日進の餅つき踊りというのがあるのですが、地域資源という中では、非常に北区でもみんなに知られたところでありまして、これについてちょっと触れたいと思います。やはり毎年正月に日進神社の境内で餅つき踊りを奉納するのですが、なかなか後継者不足というのはどの組織でも発生しています。子どもたち、それから中間層とそれから結構年上の方まで参加して、境内で皆様の前で餅つきをさせていただきますが、ぜひ地域資源としてこれからも続けていきたい。それぞれ事業についての地域資源の説明はあるのですが、やはり支えている人、人とつながり、それから世代を超えた継承というのを、大切にしていけないといけないというところを訴えたらいいのかなというのを感じております。地域資源については、人のつながりが大切で人の絆が大切で、その元となるのが地域行事の継承、そういうものが一つの手段になっているのではないかな。何かそこら辺は地域資源という言葉の中で感じたところでもあります。

それからちょっと今日の盆栽の方の浜野さんが欠席ということだったのですが、大宮盆栽村が来年100周年を迎えるということで皆さんにもいろいろ周知されていると思うのですが、これについてはぜひ北区、さいたま市の一つのブランディングになっていますし100周年を迎えるということは、対外的な一つのアピールになる。それから、人口も一応さいたま市は増えているといいますが、何年かで減っていくところですけどもそういうときに、新しい住民にも、この盆栽村が100年もここに存在して、皆さんに知ってもらえている観光資源であるということを維持していった方がいいかなと思うので、それも改めて記載をしていただいてもいいのかなと感じております。

○吉野委員 自治会長になってまだ一年数か月で、この間地域目線で色々見ていくことが非常に重要だと勉強させていただいた。大宮北地区は比較的災害に強いと感じているが、今の世界の天候の異変、首都直下型地震などもう少し自分自身の危機感を高めていかなければならないと思う。私どもの自治会館は身近な地域の防災拠点という指定も受けています。歴代会長は何かあったら、自治会館へ行けばいいんだよっていうふうなPRをしています。万一、3,000世帯が集まってきたら収容しきれない。年齢層が60～70代、80代、90代などの支援を要する方を優先する必要性が増えてくる。それを支える人材がいるか。そんなところで高齢化の問題がまず大きな問題。こうした高齢化に対してどうしていくのか、それから担い手をどうしていくのか。もちろん障害をお持ちの方もいらっしゃいますし、そういった方々をどのように避難をさせ、お手伝いをさせていただくのかといった課題が山積していると思っています。

中学生は日常的に地域内にいらっしゃるの、地域の担い手の一部に、お力添えいただけ

ることがあり得るのかなというのはちょっと今まだ感想なのですけども思っています。宮原地区の話をする、奈良町の方では雨水調整池の整備が進んでおり、また数年後には消防団宮原分団に分団が新設されて2分団体制となる。そのようなことで防災体制の強化が進んでくる。宮原駅前通りの桜並木は戦後植えたので老木化している。木の根が歩道を盛り上げているので歩行が一部困難になっている。昨年、市とワークショップを行い、電線の地中化、新たな街路樹への転換などの構想を作った。ただ地域を彩る特色としての桜は捨てないように、市もそれを織り込んでいただいており、そういった景観と防災機能を高める基盤整備を今後も進めていきたいので、市と連携して、私どもも協力してまいりたいなというふうに思っております。この桜並木は老木化しており、倒木したり枝が落下したりする度に、くらし応援室にご相談し、早く対応していただいております、くらし応援室に感謝している。いずれにしても、安全な都市環境や地域の基盤整備などの対応を考えていきたい。

○小島委員 土呂町として取り組んでいることを大きな視点で見いただければ、それが区に関係していくと思う。自治会員が多くて、現在、会員世帯数は約3,400人で世帯数はその倍で自治会は活性化している。埼玉県で住みたい駅でベスト5に入った。それだけ環境、住みやすい地域として評価はされている。取り組んでいることとして、安心安全それと地域のことは地域でやってくってということで、あともう一つはコミュニケーションをとるためにいろいろ楽しいことをやる。この大体三つが大きなテーマでやっているのですが、安心安全に関しましては防犯パトロール、これをずっと20年間続けていまして、隊員も結構多くて約120人いるのですが、この間犯罪数が4分の1になった。自慢できることと思っております。コミュニケーションをとって近所付き合いをしようということでそれはやはりイベントごとが一番大事だと思っておりますが、イベントやお祭り、盆踊りが高齢化の問題でなかなかできなくなっている。これをできるだけ自治会でやっていこうと取組をしています。

大宮盆栽村は来年開村100周年を迎えますが、現在の盆栽園の数は5軒と、全盛期の2割ほどに減っております。さらなる発展のためには、行政側の応援も必要と考えます。

○柿沼委員 資料1の市民意識調査に出てくる、困っていることは、多くが東大成町2丁目自治会でも起きている。生活利便のところが大きな課題として残っている。まず、子育て環境ということでその1つに子どもの遊び場がない。今地元の近くの小学校で子どもが開放時間に遊んでいますが、その開放時間の時間帯にも関わらず、地域住民からうるさいというクレームが入ってきていて、学校でクラブ活動ができなくなってしまった。学校、自治会、PTAで改善策を立てている。学校で自由に遊べなくなってきたしまっている。子どもが自由に体を動かさなくなってしまうのではないかと我々の地域ではつくづく感じている。安全で安心して元気に暮らせるまちをつくる、の中に子育て環境の充実という将来像が載っておりますけれども、東大成町2丁目は自前の公園を開放している状況で、子育てという意味からも子どもが自由に、活発に遊べる場所が欲しい。

もう一つ先ほどの意識調査の中ですけども生活道路の安全性というところが評価としては非常に低い、期待値としては高い。東大成町2丁目自治会では毎年1回、自宅の前の道

路は傷んでいませんかなどの意識調査をしており、要望書としてくらし応援室に提出している。交通安全から考えると一番怖いところは、交差点で、カーブミラーを多く要望しているが、なかなかできない。交差点の安全性の確保を期待している。最近、道路の陥没等の対応は早いと役所でやっていると言っている。非常にそういう迅速な対応をしていただけたところと、もう少し予算づけを考えていただいて、交通安全をもう少し積極的に前に進めていただきたい。

あと、自治会の方で、安心安全というところで、防犯にかかる費用、経費が最近多くなっている。安全なまちと認識しているが、予防がないと安全にならない。2丁目としては、多くの方にボランティアで参加していただいて、児童の登下校時の見守りと夜の安全パトロールというものを実施しております。そこに関わる経費として、帽子を買ったり、ベストを買ったり、取り揃えて皆さんにお願いをしているというところがありますので助成金が増えていただくと助かる。

○矢島委員 日進地区の矢島でございます。都市基盤環境につきまして、先人たちの努力により、日進駅の周辺がきれいになった。同時に課題として日進駅の橋上化によって駅前広場ができたが北口の方は整備が全然進んでいない。逆に南口はシャッター通りになってきている現状で、夜終電で帰ると暗いところを歩かないといけない。日進駅周辺は、住宅も増えて若い世帯も増えた。しかし、一向に商業施設が増えたようには私には思えない。そのような課題があるということをご承知いただきたい。

○山崎座長 自治会長さんからそろそろ高齢化ですとか、ちょっと今家の話出ましたが、空き家対策とかそういうものについては、本計画の方に入れてある。こういう北区に限ったことじゃないところは本計画の方でいろいろ対応していただいているようです。

○兼杉委員 市場の問題を中心にお伝えしたいと思います。商工会議所では別の会社で登録しておりまして、地元を盛り上げる役割を果たしているのですが、市場創設時からですね代々店を持っておりまして、昨年、シニアスタッフが病気になりまして、生々しい現状をお伝えできるかと思います。現在シャッターが多く、街中の空き家対策もありますが、市場が現状空きスペースばかりです。お客様からどうしたのだと言われるぐらいスペースが空いております。そして老朽化が進んでおります。なんとかして別の視点で再生、建替えなどを行わない限りは、行き止まりではないかという話も出ています。蓮田・幸手・白岡・鴻巣ですとか、県北、結構遠くから常連さんが見えになっている。割と地方から来ている方が多いということを皆様にご承知いただきたい。そうしますと、この老朽化を早めに対策をとらないとシャッターの壊れですとか、全部店舗に任されてはいるのですが、ただ、先行きが見えないとそこにリフォーム費用をかけていくかどうか。あと人員、早起きができない若者たちが割と増えていて、スタッフも高齢化が進んでいる。市長は年末の活気のあるときに視察にいらっしゃるのですが、日頃の様子をぜひご覧いただきたい。私どもの店は続けるために火曜日と土曜日という営業をコロナの時からやっております。市場では魚と野菜の部門が

分かれているのですが、ただし組合役員をやっていた方がどんどん抜けていく、同世代や若手の役員さんが店を閉じてしまうなど、コロナで大変だったので、テナントを別の方と一緒に共同経営するなどされ、どんどんブースが減っているという現状です。早めに空き家対策というか市場の対策をしないと県北の買い物難民が増えてしまう。

そしてニューシャトルはご利用になっている方がいらっしゃるかもしれませんが、結構徒歩 15 分ぐらいで遠い。鉄道博物館から加茂宮、東宮原、今羽、吉野原と行って四つ目にあるところが最寄り駅でございますが、歩いて荷物を持って歩ける距離ではない。車とか自転車とかバイクとかでお越しになる事例が多いということでお客様の中で、90 歳でお店を経営しながら来てくださる方がいるのですけれども、見沼区から 40 分かけて自転車でついこの間までいらしてました。もう年齢聞いたら怖くて、もう足が痛いとかって始まっていますので、安全のためにも早く交通網ですとか、あと物流の方策を立てないともう介助者がいない状態の高齢者の経営者、飲食店さんとかですねあと塾ですとかいろんな多種多様の方が買い付けにいらっしゃるのですけど、本当に足回りが悪いってところで、例えば、土曜日だけでもシャトルバスが走るようなサービスがあれば。観光のポイントとしても、佐野の方から高速で来たという方や岩槻インターから降りてきましたという方も本当にいらっしゃるの、このようなところをなくすというのはもったいないことではないかと思っております。

あと、産業については街中の商店の方たちも跡継ぎ問題というのがございます。なかなか合併とか、会社を売ってしまうとかもあるので次につながっていくというのが、例えば盆栽でもそうですけど技術を誰かにつなぐっていうことを、まちをあげて早めにスタートさせていただくと、例えばまちづくりや盆栽づくり、店舗をやるということでつながりが持てる。

そして私事でございますが、65 歳になりました兄を障害者で介護しております。障害者から介護保険と制度が変わりまして、介護保険に移行したのですが、本当に書類が多くてケアマネさんも大変な状況の中、まちの高齢化をクリアしていくためには、もう少し国を挙げての合理的な手続をできるようにお願いしたい。自宅の前を毎朝 3 台ぐらいそれぞれ違う会社の介護施設の送迎車が通っております。これを例えば、北区でピックアップして、何ヶ所かの介護施設とかに送りができるとか、時間がかかってもシニアカーが北区だけは特別に家の前の通りを走るとかになると、3 台も見送らなくても、1 台で済むのではないかな。同じ時間帯にもったいないと思います。会社が違うからということで一般の会社に任せているとは思いますが、さいたま市の北区はそういうサービスがあるということで、また人口も増えてくるし、介護しながら仕事も続けられるので、子育てと並行してこちらを充実させていただければと思います。市場に関しましては、ぜひ皆様のお足を運んでいただきまして、視察をしていただくことがより良いことかと思えます。ぜひ月に 1 度ぐらいは、足を運んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○山崎座長 ありがとうございます。どこでも高齢化というところ、継承が難しいところがあると思いますが、市場の市外利用者が多いというところが一つ戦略的に考えられる部分もあるかと思えます。これも市で検討していただければありがたいと思います。

○蝦名委員 青少年育成さいたま市民会議、北区の代表の蝦名でございます。参加して嬉しかったのが、女性が多い。いつも高齢の男性のところばかりなので、今日はとても女性が多くて安心しています。

地域の子育てというところになりますと、今学校でも数年前からコミュニティスクール、それから今はそれが変わりまして、学校運営委員会で地域と学校とPTAと三者一体になって、子どもを見守って育てていこうという機運が非常に高まっております、今どこの学校でもコミュニティスクール、運営協議会をやっていただいております。それとPTA会長さんも女性が非常に多くなりまして、やはり子どもを産み育てる女性の力ですけれども、やはりそこには女性が社会進出していく、そういう背景がございます。その時に子どもをどうするかということで、一時は保育園が非常に足りなくて待機児童がという話もありましたけれども、今は保育園から小学校に行ったときの子どもたちの居場所が北区にも非常に少ないということが日々耳に入っております、学童に入れなかったというお子さんもいらっしゃるし、そうするとどうしてもその家庭の主婦が仕事を制限しなきゃいけないということが出てくる。非常に残念なのが、新たにJCHOさいたま北部医療センターの跡地に2026年に大きな施設ができる予定になっております。そこにもう少し大きな放課後児童クラブができてくれるのかなと思いましたが、今ある既存のものがそっくりそのまま入るだけで全然大きくならないのです。北区の全体のことははっきり把握しておりませんけれども、やはり保護者主体等である学童クラブというものができていまして、運営の内情を聞くと大変なことが多い。時間的に放課後ですから、勤務時間も夕方から夜までとなると勤務する従業員が子どもを見る、仕事をする方の手も少なくなる。そんなことで非常に大変な思いをして、子どもを預かっているという話を聞きます。子どもを育てるのは女性だけじゃなくて、夫婦一体、それからおじいちゃん、おばあちゃん、みんなで子どもを育てていくという姿勢が考えられるなら、やはり社会もそのように役割分担をして、子どもを育てていけない時代なのかなというふうに常々思っております。

それから、先ほど柿沼会長の方からもありましたけれどもやはり子どもの遊び場問題。公園はありますけど、いつの頃から火気厳禁、花火ができない、それからボール使っちゃいけません、キャッチボールやサッカーができないというところが増えていきます。もちろん危険なことは困りますけれども本当に自由にのびのび子どもが好きなことをやって遊べるような場が地域に欲しいと思っています。そうするとお金を出していくようなところでないと遊べない状態になってしまったりするのはすごく寂しい。

あと子どもの安全。育成会でもパトロールをしておりますし、夏休みにこれから入りますと植竹地区会では朝・夜パトロール、子どもを見守る。例えばコンビニへ行ったり、それから大きな商業施設のゲームセンターを見守りとか、それから団地の隅っこの裏側にとかそういうところに子どもたちが溜まってないかとかパトロールに行くのですが、今の子どもは、昔のようにわかりやすく非行化している子どもはいません。塾の帰りにコンビニ寄って、自転車を何台か停めて喋っている子はいますけれども。なぜだろうと思ったときにやはりパソコンとかSNS、そういうものの普及で直接ではなくて、私から見るとどち

らかという陰湿ないじめ、そういうことがあったりってことがあるようなので、やはり家庭でも、それからもうこれは地域で見ていくのは非常に難しい問題なのですけれどもそういうところに意識を置いて、これから子どもを見守っていかなければいけない。

○山崎座長 ありがとうございます。それぞれのお立場からの非常に貴重なご意見だったと思います。もう少しご意見を伺いたいところではありますが、時間も限られておりますので、次に進みたいと存じます。

まだ、全ての委員にご発言をいただいておりますが、後半にご意見をいただければと思います。全て網羅するっていうのが役所の計画作りで、漏れのないように作るっていうことになるとこんな作りでどこの区も同じような作りになるんですけど、これについての感想というかちょっと限られた時間で申し訳ないんですけども、簡潔にお願いしたいと思います。それでは最初に、安全安心のところについては、少年非行ボランティア連絡会の鈴木さんご意見をお願いします。

○鈴木委員 私たちは月に3回ほど大宮駅周辺のゲームセンター、カラオケボックス、またアニメグッズの販売店や、若者が集まっているところをパトロールしております、その中で、若者の居場所がない。小学校、中学校まではいろいろ居場所がある。高校生くらいの方と中学校に通ってない方も結構いる。昨年、トー横キッズが締め出されたっていうことで、大宮駅周辺に来ているということでパトロールを強化したことがあるが、本当に高校も行っていないような人たちが集まってくる。北区ではそういう非行少年は見かけないのですけれども、北区にも居場所があればいいと思っています。大宮ですと、大宮のDOMの屋上のテニスコート横に広場がありまして、なぜか中学生がいつも何十人も溜まっております。それとソニックシティの鐘塚公園が脇にありまして、ちょっと階段で降りていたところでダンスの練習をしている人たちが行くと必ず何グループかがガラスに映ったところを見ながらダンスをしたりしている。北区にもそういう場所があればいい。ご自由にお使いくださいという、そういった中でアピールをしていくといい。あと、カラオケボックスでの高校生の不純異性交遊が多い。妊娠の可能性がある場合は72時間以内に薬を処方すれば避妊できると北区役所の女子トイレの中に貼ってあると聞きまして、トイレではなく、もう少し目立つところにあっていい。また何かあったときはもう市の保健センターの方に連絡してくださいと連絡先も書いてあったそうです。

○清水委員 民生委員としては、地域住民が困っていることを専門機関につなげる仕事をしているが、課題が常にたくさんある。それを真剣に一つ一つ取り組むということは大変なことです。私の所属している民生委員・児童委員協議会は48名おります。集まるのは本当に月1回の定例会しかない。でも、本当に真剣に捉えていかないといけないと今日の会議を通して感じた。たくさんある課題の中で一つでもいいので、一步前進するように取り組んでいきたい。それと市場の問題について、自宅が市場の近くで何十年とみてきたので、今後地域住民として感じるのが、何とかこれを活性化できないか。広大な地域があって、今の状態

だと地域住民としてとても不安です。何か方法があるのではないかな。

○井山委員 住環境、交通環境という点で言うと、アンケートなどによると交通の便が良いという意見があったが、どこの地域もそうだと思うが、場所によると感じる。特にＪＲに関してはたくさん路線の種類があり、便がいいとは思いますがそこに出るまでのツールにやはり偏りがある。私は見沼代用水の方に近いので基本的にバスは何も走っていません。なので、基本歩きや自転車などで、最寄りの駅まで行くしかない。周りのお子さんからは、やはり高校生、大学生になると駅まで自転車で行かなきゃいけないのだけど朝一の授業の時はまだ駐輪場が空いているが、昼からの時にはもう空いてないという話を聞く。住民がやっぱり増えてきているので、駐輪場・駐車場の面が一つある。

あとやはり子育て世代としては小さい方がいる、車がない、バスがないのでどこにも行けないという面がある。もう一つ、親と一緒に住んでいると歩けなくなると、心配なので返納して欲しかったですが、免許を返納すると病院などに送迎しないといけないという感じになる。病院などは朝が早いので、子どもの通学時間帯と重複する。そうするとどっちを取ったらいいかという問題を最近感じる。

交通環境に関しては、北区は大きな道路、バイパス、産業道路、国道 17 号線があり他のエリアもそうだと思いますが、私の住んでいるところのエリアは、バイパスと産業道路に挟まれたエリアでありますので、結構皆さんが抜け道として使います。特に今は産業道路沿いの工事が多い。なので、朝の通学時間でも車などが入ってくる。ＰＴＡとしても朝の旗振りなどはしているのが、やはり今、女性が多くなっている。お母様方の仕事率が非常に高い。最近小学校新一年生の大体 3 分の 2 は学童が決まっているか学童希望者です。働いているお母さんお父さんがすごく増えているので、朝の旗振り当番も入れないという方が非常に増えている。かつ、小学校でメンバーが毎年変わるので、人の多さや歩く道の環境とかもすごく変わってくる。なので、毎年旗振りの場所ってというのは再検討するようにはしているが、通学する家庭数が少ないところに危険な箇所があることもあり、少ない家庭数で見るとか他の地域から来てもらうのが議論になる。家庭だけで安全面を見ることが厳しくなっている。それはさいたま市ＰＴＡ協議会の方で話すときも一緒です。おそらく北区だけではない。全体的に交通量の問題、便の問題、あとマナーの問題、見る保護者の問題とかいろいろあると思うのですがちょっと見切れなくなっている。あとその北区の中でも通学班で登校しているところと、通学班を廃止して個人で登校しているところ、踏切を超えるところや幹線道路を越えるところなどいろんな学校がありまして、そこを子どもたちが慣れるまでなど、環境を整えていくことは考えていけないといけない。

あと伝統の継承などでぜひコラボなどしていただければ、ＰＴＡもＰＴＡだけでやると、あと各単体の学校だけだと人数が揃わないですが、北区としてイベントなども企画していただければ、子どもたちも集まると思いますし、伝統も継承していけると思う。

○長島委員 スポーツ推進員として、小学生から高齢者まで運動教室や大会の企画の運営をしている。民生・児童委員としても、大砂土地区社協の高齢者向けの運動教室を担当して

おりまして、基本、運動教室的なことをやっている。近年の問題として、猛暑で5～9月は運動に適していないという環境となっている。時期をずらすなど、冷水や氷を用意し、対策を行ってはいるものの、非常に暑く、学校や北区の体育館などにエアコンを早急につけてほしい。

あともう一つ、社協のすこやか運動教室の方で今、本郷第六公園で運動教室を行っているが、けやきが枯れて、今は老木の本漏れ日がある桜の木の下だけで教室をやることになっている。これもトイレの都合でその公園から他の木のある公園に移動もできない状況です。この辺りの公園にトイレや運動できる環境をもっと増やしていただきたい。そうすれば高齢者が病院に行かなくて済むような元気な体になってもらえるのではないかな。

その他、民生委員として高齢者を回っていると、運転免許は返納したいがコミュニティバスなどが近くなって返納できないという方が多く、交通環境をもっと充実してほしいという意見を聞いている。

○牧野委員 スポーツ推進員を20年やっている。各小学校でスポーツ教室や親子でも誰でも、世代間交流できるような、スポーツ教室を開催している。大会を開くと出てくるのは、50、60歳の男性がほとんどだが、女性のチームが少しずつこの頃立つ。10区の中で北区に体育館がない。北区に体育館が欲しいと言い続け願ってきたら、今度JCHOさいたま北部医療センターの跡地に体育館ができるということで説明会があった。家から外に出ない人が多い中、無料で利用できる、体を動かせるような設備を作ってほしいと思う。特に、30～40代が運動できていない。これは全国的な問題である。まだまだ先が見えない問題だが、楽しく運動することは体に良い事だと皆知っている。子どもたちと共に汗をかいて楽しく運動できる、誰でも使えるような施設を作ってほしい。避難場所にもなれるし健康作りもできるし、孫から祖父母と世代間交流して一緒にそこにやってくることもできる。それに今回の立地条件から見ると、周りに踏切が2か所ある。皆さんが体育館に来るときは自転車か車。踏切は開くと、自転車⇒歩行者⇒車の順番で通行するので、生活道路の安全性がまだまだという印象。北区内の踏切の安全性を重視してほしい。

その他として、10区の中で北区の特色を出してほしい。全体像で考えると北区は市場がテレビなどで有名。飲食店も面白い取組をやっている。北区は色々な食材があるのに、どうして道の駅的なものがないのか。楽しい施設であれば、みんな買いに行くとと思う。わざわざ車に乗って他地域の道の駅に行かなくても北区の中で買い物をしてもらい、円滑な経済革命のようなものができたらいい。

○薄田委員 土呂駅の西口、東口に分かれて花の手入れをしている。メンバーの年齢が高齢化している。週1回、夏場は週2回、月曜日、木曜日で活動しているが、暑さに負けた方もいれば負けずに頑張っている方もいる。活動しているときに声をかけてくれる方に逆に超えをかけるなどしてボランティアを募集しているがなかなか集まらない。頑張っていきたいと思います。

○山崎座長 ありがとうございます。皆さんからいろいろご意見をいただきましてこれをまた参考にさせていただきたいと思います。それぞれご意見ありましたが、私も役所にいるときには言えなかったことですが、今少子高齢化が進んでいく中で、たまたまさいたま市は人口が増えています、間違いなくこれから減っていく。そうすると高齢化に伴う担い手不足、人の不足、それから、間違いなく税収も減ってきますからお金の不足が起きてくる。今お話を聞いていて、これからは、人をどう確保、人材育成をしていくべきか、お金の優先順位をどうするか、それぞれに必要性はあるが、優先順位をきちんとつけていかないといけないと思いました。全国的のレベルの話から、さいたま市のレベル、10区が同じでいいのか、そういうのを含めて、さいたま市全体の中で考えるべきこと、それからこの北区特有の課題、そういうものを今日皆さんからお話をいただけたと思いますので、これはぜひまとめる行政側で整理していただいて、北区がますます発展していくようにまとめていただければありがたい。

計画作りというよりは、横のつながりっていう意味で、それぞれの活動の実態を知ることが非常に大切だなと今日はつくづく感じました。本当に皆様のおかげで色々なご意見を聞けてありがとうございます。それでは長時間にわたりまして皆さんにご協力いただきましたことを感謝申し上げまして、進行を事務局の方にお返ししたいと思います。

6 閉会

○司会 皆様、長時間にわたり、ありがとうございます。

ここで、中間見直しに関する今後の流れについて、説明をさせていただきます。

本日の懇話会でいただいたご意見等を参考として、本庁関係所管課とも調整し、8月中には北区の「区の特性と将来像」の中間見直し案を確定する予定です。

その後、地方自治法に基づく附属機関である「総合振興計画審議会」へ、北区の「区の特性と将来像」を含む、総合振興計画基本計画の見直し案を諮問し、今年度中に答申をいただく予定としております。

そして、令和7年度（来年度）、市議会への報告やパブリックコメントを経て、基本計画改定の議案を市議会へ提出する予定となっております。

次に、事務連絡となりますが、本日の懇話会のご出席に対する謝礼のお支払いにつきましては、本日、「委員登録票」の中でご報告いただきました、振込先口座へ、8月上旬頃にお振込みいたしますので、ご確認をお願いいたします。振込額は、源泉徴収後の額となっておりますので、予め、ご承知いただきますよう、お願い申し上げます。

これをもちまして、「さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る北区検討懇話会」を閉会といたします。

お帰りに際しましては、事故のないよう、お気を付けくださるよう、お願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。

以上